

資料 1

発達障がい者支援センター 事業実施状況について (令和3年度・令和4年度6月末)

資料 1-1

令和3年度発達障がい者支援センター事業実施状況

資料 1-2

令和4年4月～6月発達障がい者支援センター事業実施状況

資料 1-3

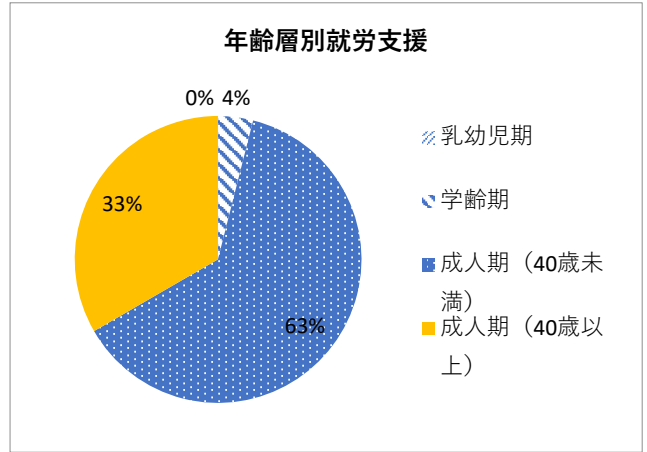
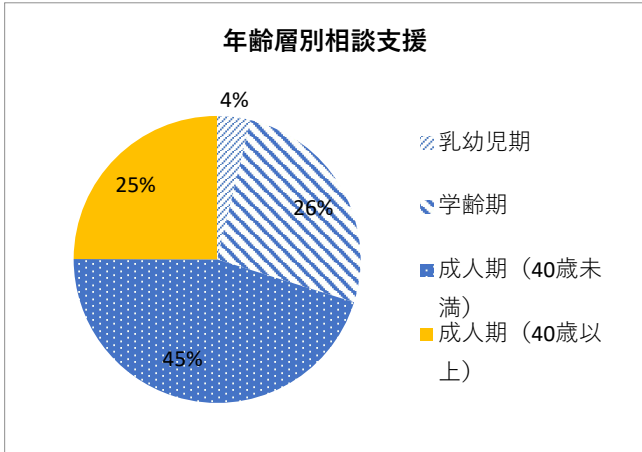
発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート
体制の強化（令和3年4月～令和4年3月）

資料 1-4

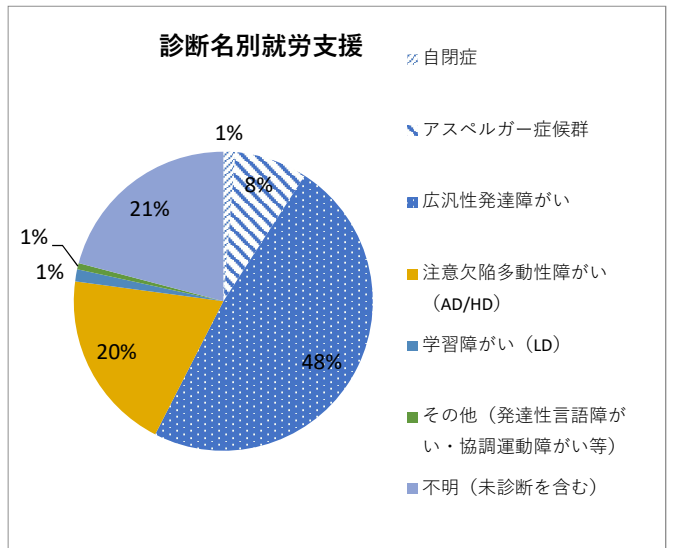
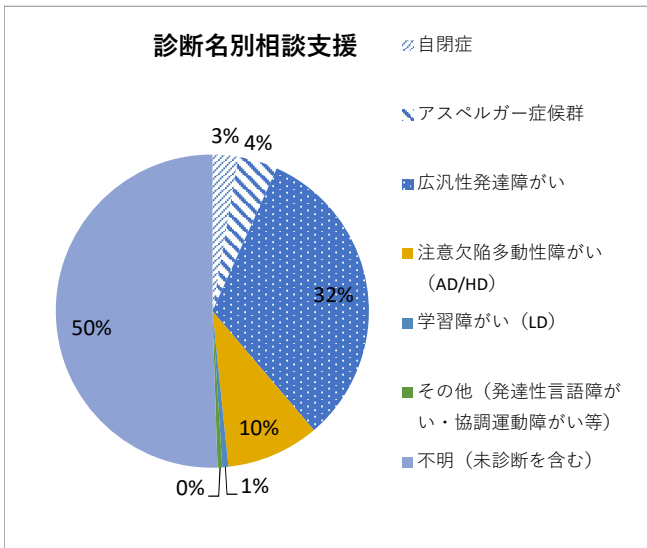
発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート
体制の強化（令和4年4月～令和4年6月）

<相談件数（実支援人数）>

| 1-1 年齢別 | 相談・発達 | 就労 | 小計 |
|------------|-------|-----|-----|
| 乳幼児期 | 24 | 0 | 24 |
| 学齢期 | 166 | 6 | 172 |
| 成人期（40歳未満） | 288 | 96 | 384 |
| 成人期（40歳以上） | 159 | 51 | 210 |
| 合計 | 637 | 153 | 790 |



| 1-2 診断別 | 相談・発達 | 就労 | 小計 |
|------------------------|-------|-----|-----|
| 自閉症 | 17 | 2 | 19 |
| アスペルガー症候群 | 26 | 12 | 38 |
| 広汎性発達障がい | 204 | 74 | 278 |
| 注意欠陥多動性障がい（AD/HD） | 61 | 30 | 91 |
| 学習障がい（LD） | 4 | 2 | 6 |
| その他（発達性言語障がい・協調運動障がい等） | 3 | 1 | 4 |
| 不明（未診断を含む） | 322 | 32 | 354 |
| 合計 | 637 | 153 | 790 |



2 個別支援：調整会議（のべ件数）

※「相談・発達・就労支援」に伴うケース本人も含めた会議

| 相談・発達 | 就労 | 計 |
|-------|-----|-----|
| 121 | 103 | 224 |

3 個別支援：機関コンサルテーション（のべ件数）

※「相談・発達・就労支援」に基づく施設への助言、支援者のみの会議

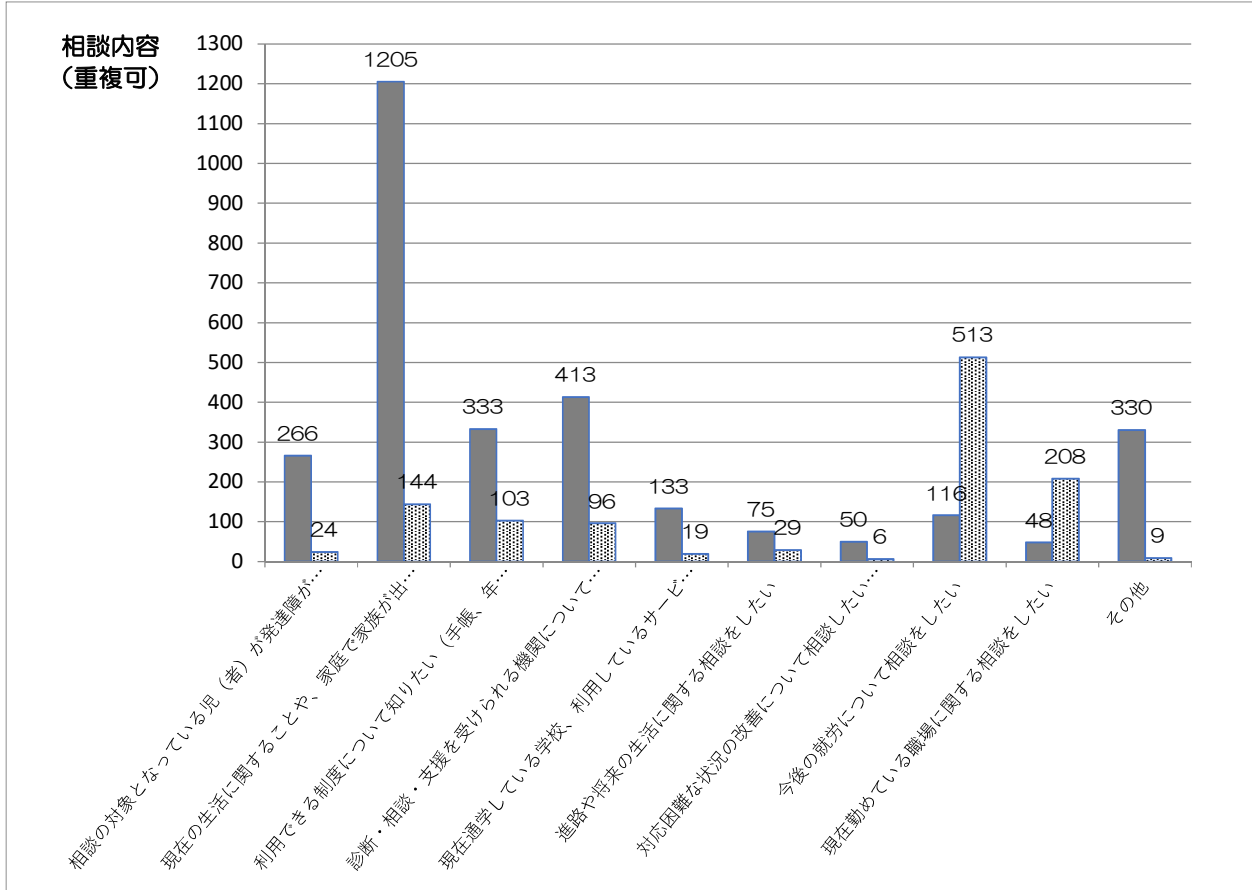
| 相談・発達 | 就労 | 計 |
|-------|----|----|
| 9 | 6 | 15 |

4 相談内容（重複選択可）

相談・発達

就労

| | | |
|---------------------------------------|------|------|
| 相談の対象となっている児（者）が発達障がいを知りたい | 266 | 24 |
| 現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい | 1205 | 144 |
| 利用できる制度について知りたい（手帳、年金、手当、障がい福祉サービスなど） | 333 | 103 |
| 診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい | 413 | 96 |
| 現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい | 133 | 19 |
| 進路や将来の生活に関する相談をしたい | 75 | 29 |
| 対応困難な状況の改善について相談したい（強度行動障がい、ひきこもりなど） | 50 | 6 |
| 今後の就労について相談をしたい | 116 | 513 |
| 現在勤めている職場に関する相談をしたい | 48 | 208 |
| その他 | 330 | 9 |
| 合計 | 2969 | 1151 |



5 機関支援

99回実施（令和3年4月～令和4年3月）

実訪問か所 44か所

6 研修・啓発

参加総数 2445名

実施回数

| | 実施回数 |
|--------|------|
| 主催研修会 | 32 |
| 主催連続講座 | 132 |
| 共催講座 | 10 |
| 講師派遣 | 16 |
| 計 | 190 |

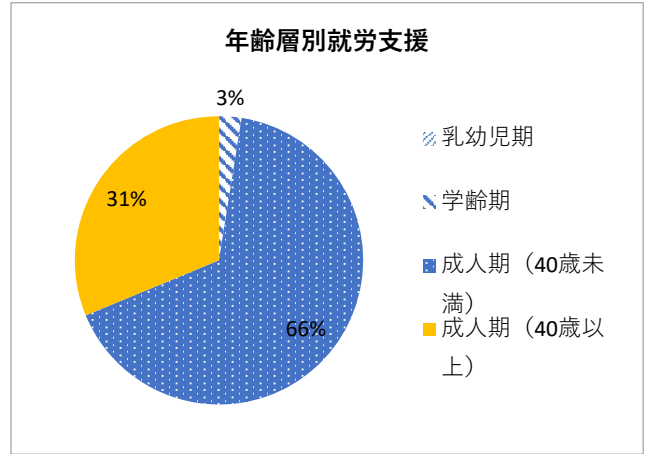
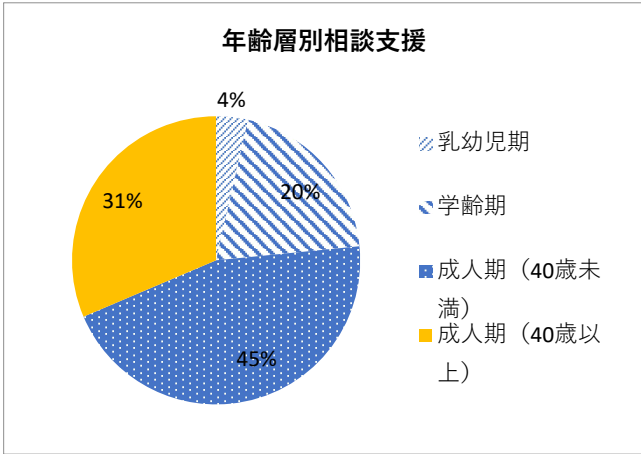
7 発達ノート発行数

| | | |
|---------------------|----|-------|
| 令和3年4月～令和4年3月（290冊） | 累計 | 2876冊 |
|---------------------|----|-------|

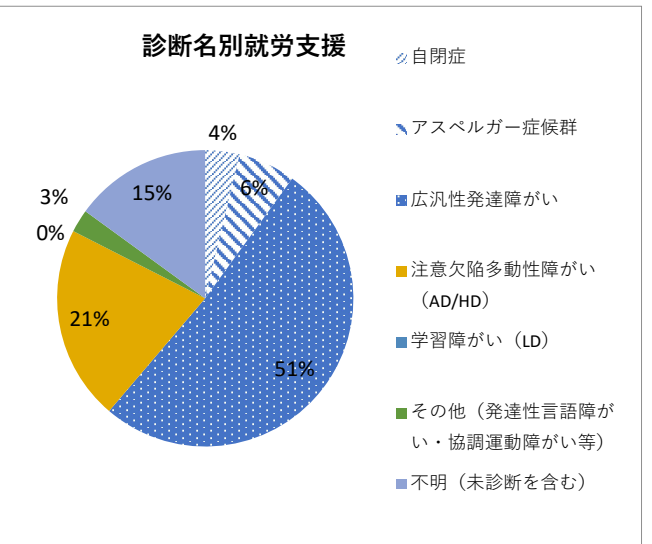
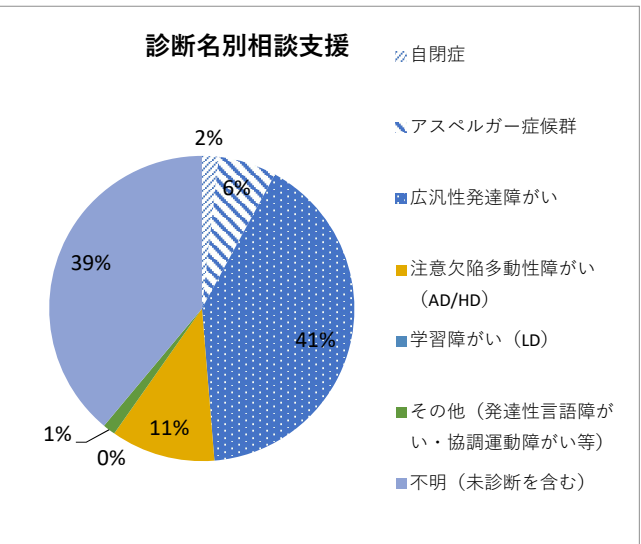
論評 ・コロナの感染状況が終息していない為、機関コンサルテーション、主催講座や研修等、実施件数はコロナ禍以前の状況には戻っていない。
 ・個別相談は、昨年度、一昨年度よりも件数は増えており、より増加傾向にある。内容は、現在の生活に関する事や利用できる制度、就労についての相談が増えており、コロナ禍の影響を受けていると思われる。年代別では、40代以降の方の相談、診断名別では、ADHDの方の相談が増えてきている。
 ・機関支援は、コロナ禍により、件数は大幅に減少したままである。
 ・啓発研修は、児童発達支援・放デイ向けと成人支援事業所向けの集合研修を基礎編と実践編に分け、基礎編は発達障がい児・者の支援者向けにオンラインと集合で1回ずつ実施。実践編は、成人支援事業所向けを集合研修、児童発達支援・放デイ向けをオンラインで実施した。オンラインでの実施を望む事業所も多く、次年度についても可能なものについてはオンラインでの実施を考えている。PTは、コロナ禍の影響もあり、定員に達せずに実施出来なかったクールや参加途中で受講をやめられるケースがあった。保護者支援の取り組みについて、よりニーズに合わせた内容について見直しを行い、次年度の計画に反映していく。TTは、参加人数を増やして開催したが、希望者全員の参加は出来なかった。
 ・「ここらからのWS」「発達障がいがある学生等の就労準備支援事業」は、例年同様、大阪市職業リハビリテーションセンターや就労移行支援事業所であるサテライトオフィス・平野に協力いただいて開催、どちらも各々の進路に向けて、刺激になったり、役に立ったのではないと思われる。

<相談件数（実支援人数）>

| 1-1 年齢別 | 相談・発達 | 就労 | 小計 |
|------------|-------|----|-----|
| 乳幼児期 | 8 | | 8 |
| 学齢期 | 45 | 2 | 47 |
| 成人期（40歳未満） | 102 | 53 | 155 |
| 成人期（40歳以上） | 71 | 25 | 96 |
| 合計 | 226 | 80 | 306 |



| 1-2 診断別 | 相談・発達 | 就労 | 小計 |
|------------------------|-------|----|-----|
| 自閉症 | 4 | 3 | 7 |
| アスペルガー症候群 | 14 | 5 | 19 |
| 広汎性発達障がい | 92 | 41 | 133 |
| 注意欠陥多動性障がい（AD/HD） | 25 | 17 | 42 |
| 学習障がい（LD） | 0 | 0 | 0 |
| その他（発達性言語障がい・協調運動障がい等） | 3 | 2 | 5 |
| 不明（未診断を含む） | 88 | 12 | 100 |
| 合計 | 226 | 80 | 306 |



2 個別支援：調整会議（のべ件数）

※「相談・発達・就労支援」に伴うケース本人も含めた会議

| 相談・発達 | 就労 | 計 |
|-------|----|----|
| 37 | 23 | 60 |

3 個別支援：機関コンサルテーション（のべ件数）

※「相談・発達・就労支援」に基づく施設への助言、支援者のみの会議

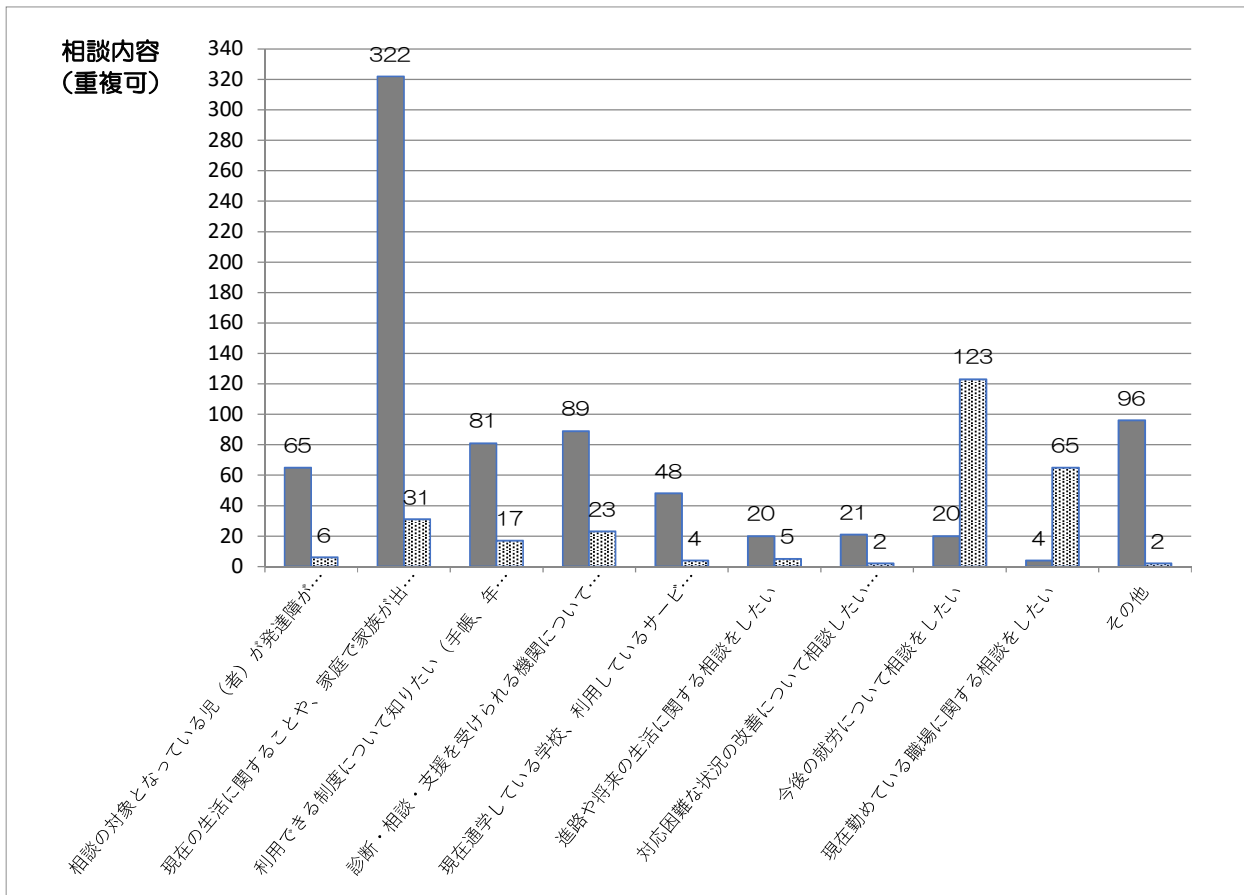
| 相談・発達 | 就労 | 計 |
|-------|----|---|
| 5 | 0 | 5 |

4 相談内容（重複選択可）

相談・発達

就労

| | | |
|---------------------------------------|-----|-----|
| 相談の対象となっている児（者）が発達障がいを知りたい | 65 | 6 |
| 現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい | 322 | 31 |
| 利用できる制度について知りたい（手帳、年金、手当、障がい福祉サービスなど） | 81 | 17 |
| 診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい | 89 | 23 |
| 現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい | 48 | 4 |
| 進路や将来の生活に関する相談をしたい | 20 | 5 |
| 対応困難な状況の改善について相談したい（強度行動障がい、ひきこもりなど） | 21 | 2 |
| 今後の就労について相談をしたい | 20 | 123 |
| 現在勤めている職場に関する相談をしたい | 4 | 65 |
| その他 | 96 | 2 |
| 合計 | 766 | 278 |



5 機関支援

21回実施（令和4年4月～6月）

実訪問か所 21か所

6 研修・啓発

参加総数 559名

実施回数

| | | 実施回数 |
|--------|-------------------------------|------|
| 主催研修会 | PT公開講座・放課後デイ基礎講座、成人期基礎講座、LD講座 | 5 |
| 主催連続講座 | ペアレントトレーニング、ASD、スキルアップ、からだ講座等 | 15 |
| 共催講座 | 成人期当事者GW、大学生就職準備支援、子育て支援セミナー | 1 |
| 講師派遣 | 出前研修、啓発研修等 | 4 |
| 計 | | 25 |

7 発達ノート発行数

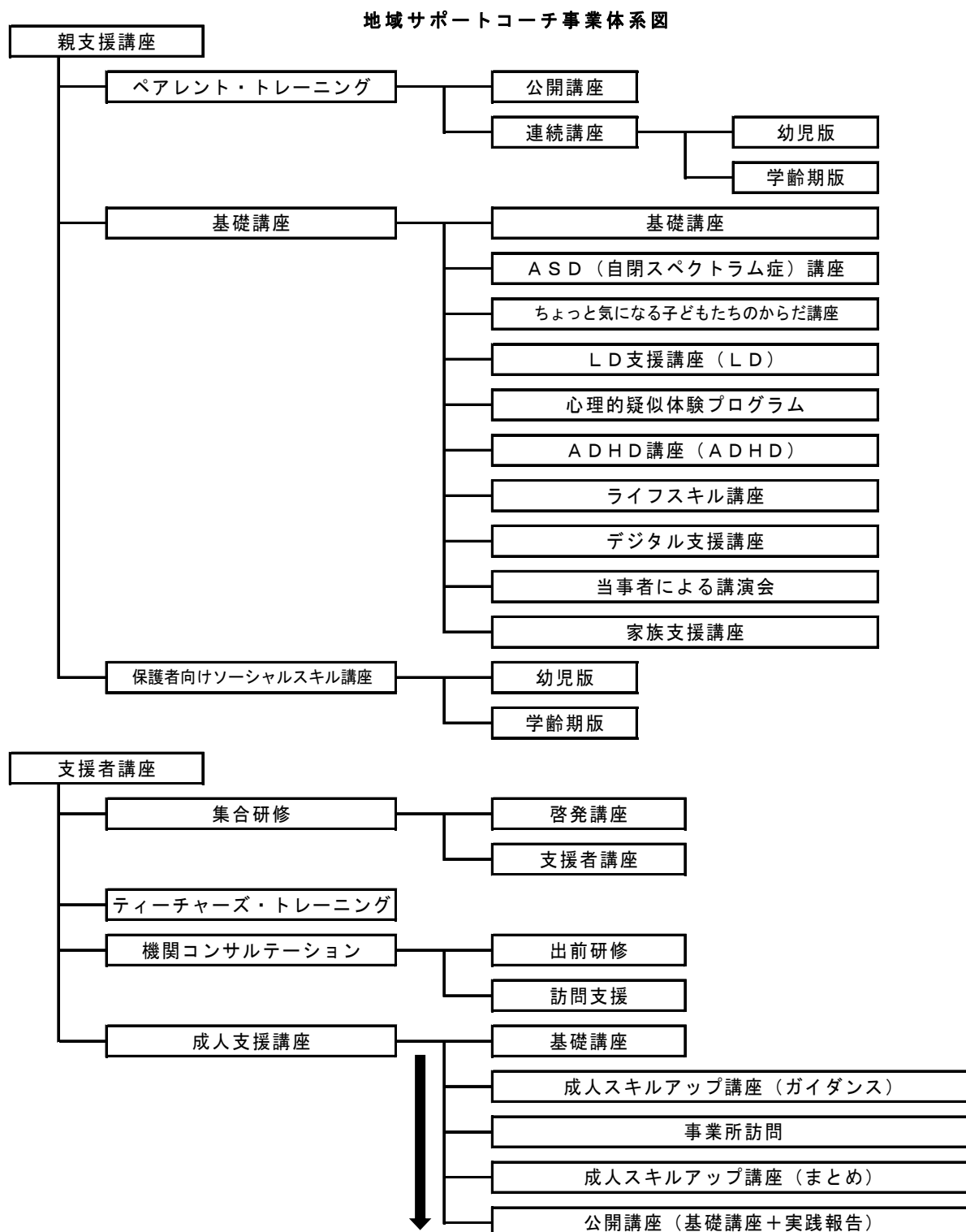
| | | |
|---------------|----|-------|
| 令和4年4月～6月（6冊） | 累計 | 2882冊 |
|---------------|----|-------|

論評
 ・個別相談：相談件数自体に大きな変化はないが、相談内容の内訳として、コロナ禍の状況を反映して、現在の生活に関することや就労についての相談が増えている。発達障がいを診断出来る医療機関が増えた為か、確定診断が出てからの相談が増えていると思われる。
 ・調整会議、機関コンサルテーション：やや増加傾向。
 ・啓発研修：PTは、募集定員に達せずに1クール開催できなかった。広報（特に保護者支援）について検討し、LINE（ライン）公式アカウントの運用を6月から始めた。今のところ、PTならびに講座ともに、応募は少し増えて来たのではとないかと思われる。TTは、今年度も2クールを開催中である。
 ・「こころとからだのWS」「発達障がいのある学生等の就労準備支援事業」は、現在準備中である。

発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート体制の強化
（令和3年4月～令和4年3月）

事業概要

地域サポートコーチを配置し、地域の関係機関・事業所等への啓発・研修・支援、ペアレント・トレーニング等の親支援を実施。



【 取 組 状 況 】

親 支 援 講 座

【1】ペアレント・トレーニング

児童の特性や行動を理解し、親自身が児童にとっての「最良の療育者」となり自尊心を高めることができるよう、行動療法に基づく効果的な対応法を学び、話し合い、練習する。

(1) ペアレント・トレーニング公開講座

発達障がいのある児童の特性や対応方法を解説し、特性に応じた対応の重要性を啓発するとともに、ペアレント・トレーニングの目的、概要、実践、効果を紹介することでペアレント・トレーニングの受講を促す。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：今村 佐智子先生（一般社団法人 発達支援ルームまなび 理事）

定員：50名

★実施済（3回）

| 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|-------|-------------------|------|-----|-----|
| | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| 6/29 | J E C 日本研修センター心斎橋 | 26 | 23 | 49 |
| 8/27 | 阿倍野市民学習センター | 20 | 18 | 38 |
| 11/26 | C I V I 北梅田研修センター | 25 | 12 | 37 |
| 計 | | 71 | 53 | 124 |

★実践報告会アンケート結果（回収率97%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|-----|
| 大変わかりやすかった | 65 |
| わかりやすかった | 43 |
| 難しかった | 3 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 10 |
| 計 | 121 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|-----|
| 大変参考になった | 63 |
| 参考になった | 52 |
| あまり参考にならなかった | 2 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 4 |
| 計 | 121 |

【感想・意見】

・今後、子どもと接していくのに何を注意したら、気を付けたら良いのか、分からなかったが道が開けたような気がした。

・問題行動＝親（大人）の目線ということに、わかっているようでわかっていなかったなど改めて気づかされました。ADHDがあるので怒ってしまう（周囲の目を気にして、怒らないといけないと思っていた部分もある）ことが多かったので、褒めることを増やせるよう、意識したいと思います。

・わかりやすい言葉で、具体的にお話ただけで、理解が深まりました。参加できて良かったです。

(2) ペアレント・トレーニング実践報告会

ペアレント・トレーニング連続講座の成果をはじめ、ペアレント・トレーニングの内容、意義について広く知っていただくことを目的として実施。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：今村 佐智子先生（一般社団法人 発達支援ルームまなび 理事）

定員：80名

★実施済（1回）

| 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|-----|-----------|------|-----|----|
| | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| 3/1 | A P 大阪淀屋橋 | 17 | 38 | 55 |

★実践報告会アンケート結果（回収率90％）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 33 |
| わかりやすかった | 13 |
| 難しかった | 0 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 4 |
| 計 | 50 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 38 |
| 参考になった | 10 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 2 |
| 計 | 50 |

【感想・意見】

- ・お母さん達の実際の体験談はとても参考になったし、私も受講して息子との関係、家の雰囲気も今よりもっと良い物にしたいと思った。今日来て、お母さん達の話を開けただけでも、自分だけじゃないんだと思えて励みになりました。
- ・ペアトレを実際に受講してみたの生の声が聴けて、大きな変化を実感しやすかった。「困っていること」と捉えることで、子どもがどうしたいかを考えることの大切さを感じた。
- ・自分の子どもへ対しての接し方、どうか変わったのか、ペアトレを受けた感想など聞けてよかったです。今村先生のお話もわかりやすく、とても勉強になりました。

(3) ペアレント・トレーニング連続講座

行動療法に基づく効果的な対応方法を身につけ、児童の適応行動を増やす。計画表に沿ってテーマを決めて学習・話し合い・練習を行い、ホームワークを自宅で実践する。

対象：幼児期・学齢期の保護者

定員：8名

★実施済（幼児：6回×5クール、学齢：10回×5クール 9回×1クール 計89回）

| 対象 | 期間 | 会場 | 参加者数 | | |
|----|------------|------------------|------|-----|---|
| | | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| 幼児 | 6/4～8/6 | 大阪府社会福祉会館 | 8 | | 8 |
| | 6/2～8/4 | ドーンセンター | 8 | | 8 |
| | 9/3～11/12 | 此花区民ホール | 中止 | | - |
| | 9/21～11/30 | 中央会館 | 7 | | 7 |
| | 1/11～3/22 | クレオ大阪子育て館（共催） | 5 | | 5 |
| | 1/13～3/17 | アンビション貸会議室 | 6 | | 6 |
| 学齢 | 6/15～11/16 | 早川福祉会館 | 8 | | 8 |
| | 6/3～10/28 | 大阪産業創造館 | 8 | | 8 |
| | 9/1～1/12 | ドーンセンター | 6 | | 6 |
| | 10/25～3/14 | 自習室うめだ | 7 | | 7 |
| | 10/27～3/16 | 難波市民学習センター | 4 | | 4 |
| | 11/4～3/10 | J E C日本研修センター心斎橋 | 4 | | 4 |

※中止した此花区民ホールの幼児グループは申込少数だったため、実施できなかった。

(4) ペアレント・トレーニング フォローアップ講座

ペアレント・トレーニング連続講座を受講された保護者を対象に、講座終了後ある程度の期間が経過した段階で、ご家庭での取り組みや、課題等について再整理・共有し、今後のお子さんへのかかわり方の一助とする目的で開催する。(2020年度も含む実施済の講座のフォローアップ)

★実施済 (9回)

| 対象 | 日程 | 参加者数 |
|----|-------|------|
| | | 保護者 |
| 幼児 | 10/29 | 2 |
| | 11/17 | 2 |
| | 2/22 | 5 |
| 学齢 | 7/5 | 4 |
| | 7/8 | 2 |
| | 7/14 | 1 |
| | 2/1 | 3 |
| | 2/3 | 2 |
| | 3/16 | 5 |
| 計 | | 26 |

【2】基礎講座**(1) 基礎講座**

発達障がいの診断を受けたばかりの保護者やグレーゾーンの保護者を対象に、発達障がいの基礎的な知識と支援についての講演を実施します。プラスでは、より具体的な支援方法についての講座を実施します。

対象：幼児期・学齢期の保護者

講師：地域サポートコーチ

定員：各回50名

★実施済 (4回)

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 |
|----------------------|------|---------|------|
| 発達障がいの理解と支援 (基礎) | 7/9 | 武藤記念ホール | 39 |
| 発達障がいの理解と支援 (プラス) | 9/24 | 大阪私学会館 | 15 |
| 発達障がいの理解と支援 (基礎) | 12/7 | 大阪産業創造館 | 13 |
| 発達障がいの理解と支援 (プラス) | 3/18 | 大阪私学会館 | 14 |
| 計 | | | 81 |

★基礎講座アンケート結果 (回収率95%)

| 講演内容について (理解度) | 人数 |
|----------------|----|
| 大変わかりやすかった | 55 |
| わかりやすかった | 17 |
| 難しかった | 0 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 5 |
| 計 | 77 |

| 講演内容について (役立度) | 人数 |
|----------------|----|
| 大変参考になった | 50 |
| 参考になった | 22 |
| あまり参考にならなかった | 2 |
| 全く参考にならなかった | 1 |
| 無回答 | 2 |
| 計 | 77 |

【感想・意見】

- ・今回、講座に参加して色々勉強になりました。これからどんどん参加して、前向きに子どもを育てていこうと思いました。
- ・知る、工夫する、整えることの大切さを改めて勉強させていただきました。また講習会を受けて、情報を取り入れたいと思います。実際のグッズ展示は初めてで、色々実際に手に取って見ることができて、早速ネットで調べて、必要なものは購入検討したいと思いました。
- ・具体的なエピソードも聞けて、なるほどなと思えた。自分の子どもの行動に注意を向ける視点が知れて良かった。

(2) ASD (自閉スペクトラム症) 講座

お子さんの理解と支援をテーマに、ASDの子どもたちの物事の捉え方や親子で暮らしやすい見える化(環境調整)の例について講演を実施します。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：井上 芳子 (エルムおおさか センター長)

定員：各回30名

★実施済 (2回×1クール 計2回)

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|-------------|-----|----------------|------|-----|----|
| | | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| わかりやすい環境づくり | 2/2 | 日本研修センター 十三 | 3 | 18 | 21 |
| 気になる行動の考え方 | 2/9 | | 3 | 19 | 22 |
| 計 | | | 6 | 37 | 43 |

★ASD (自閉スペクトラム症) 講座アンケート結果 (回収率100%)

| 講演内容について (理解度) | 人数 |
|----------------|----|
| 大変わかりやすかった | 33 |
| わかりやすかった | 9 |
| 難しかった | 0 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 1 |
| 計 | 43 |

| 講演内容について (役立度) | 人数 |
|----------------|----|
| 大変参考になった | 32 |
| 参考になった | 9 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 2 |
| 計 | 43 |

【感想・意見】

- ・ASD、ADHDについてより具体的なイメージをもつことができました。また、実際に取り組んでいた資料も見ることができたので、イメージが付きやすかったです。
- ・言葉だけではなく、視覚的に分かりやすくアプローチすることが大切なのだと改めて感じました。保育の中で活動が変更することがあるので、子どもたちが安心してできるようパニックを防いでいきたいと思いました。見える化を参考にさせていただきたいと思います。
- ・診断はなくても気になるが多くいるので、子どもたちが落ちていて過ごせるよう見える化した。環境作りを増やしていきたいなと思いました。

(3) ちょっと気になる子どもたちのからだ講座

乳幼児期に獲得される感覚-運動能力の視点から、身体の使い方が不器用で、集団生活が苦手な子どもたちの特徴と支援について講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：有吉 正則先生（兵庫医療大学 准教授 作業療法士）

定員：各回30名

★実施済（2回×1クール 計2回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|---------------|------|--------|------|-----|----|
| | | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| 感覚と運動発達の視点から | 9/14 | 大阪私学会館 | 6 | 26 | 32 |
| 身体と手先の動きを育てよう | 10/6 | | 5 | 24 | 29 |
| 計 | | | 11 | 50 | 61 |

★からだ講座アンケート結果（回収率100%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 44 |
| わかりやすかった | 15 |
| 難しかった | 1 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 1 |
| 計 | 61 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 51 |
| 参考になった | 9 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 1 |
| 計 | 61 |

【感想・意見】

- ・神経・身体の発達が生活の基盤の重要性につながるものが良く分かりました。子どもの行動で思い当たる点もよくあり、勉強になりました。
- ・「スキンシップは主観的な感覚で」の講義がとても興味深かった。ペンを例に、触れる場所が変わると意識の向く先が違って面白かった。子どもが不安になったりした時、このようなスキンシップを取り入れたいと思う。
- ・運動発達の順番を知ることで、どの段階につまずきがあるのか見るポイントを学ぶことができ、観察場面で活かせそうです。まず、自分が練習法を体験して、子どもが楽しく参加できるようにしていきたいと思えます。

(4) ことばの指導・読み書き・計算・聞く話す（LD）

学習のつまずきや宿題への対応など、幼児期学齢期の特性に応じた支援や指導方法のポイントについて、講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：各回30名

★実施済（5回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|------------------------------|-------|---------------------|------|-----|-----|
| | | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| 基礎的な読み書きの力を育てる | 6/21 | コンファレンスプラザ 大阪御堂筋 | 11 | 21 | 32 |
| 聞く力・話す力の理解と指導へのヒント | 9/6 | JEC日本研修センター 十三 | 6 | 14 | 20 |
| 豊かなことばを育むために | 9/16 | JEC日本研修センター 心斎橋 | 5 | 22 | 27 |
| 読み書きの力を育てる ～高学年での課題と学習支援～ | 12/20 | AP大阪淀屋橋 | 5 | 9 | 14 |
| 算数でつまずく子どもの理解と指導へのヒント | 2/21 | 大阪府社会福祉会館 | 6 | 2 | 8 |
| 計 | | | 33 | 68 | 101 |

★LD講座アンケート結果（回収率99%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|-----|
| 大変わかりやすかった | 65 |
| わかりやすかった | 28 |
| 難しかった | 2 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 5 |
| 計 | 100 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|-----|
| 大変参考になった | 66 |
| 参考になった | 30 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 4 |
| 計 | 100 |

【感想・意見】

- ・とても参考になりました。状況だけが目につき、どこにつまずきがあるのかさえ全く見えていなかったの
で、少し客観的に考える事ができそうです。
- ・具体的なお話はもちろんのこと、何が大切か、子どもの意欲についてなどのお話がとても為になりました。
- ・「できない」の原因と対処法、とても勉強になりました。嫌にならないように意欲を保つ、タブレット
等の使用も参考になります。

（5）心理的疑似体験プログラム

お子さんが抱える困難と、その困難を持ちながら通常学級で学習する時の子どもの気持を体験し、その理由を考えた上で、どのような指導が役に立つのか、考えていく。

対象：小学生の保護者

講師：西岡 有香先生（大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：20名

★実施済（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者 |
|--|------|--------|-----|
| 『LD・ADHD等の心理的疑似体験プログラム第3版』で学習時の「聞く・話す・読む・書く」の苦手さを理解しよう | 1/24 | 大阪私学会館 | 8 |

★心理的疑似体験プログラムアンケート結果（回収率100%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 5 |
| わかりやすかった | 1 |
| 難しかった | 1 |
| かなり難しかった | 1 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 8 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 6 |
| 参考になった | 1 |
| あまり参考にならなかった | 1 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 8 |

【感想・意見】

- ・子どもが何ができない、何について困っているかを理解する事が出来た
- ・子どもが困っていたことを体験してみて、もっと工夫することでできることが増えるんだなと思いました。
- ・ワークをすることで子どもの現状が理解できたので、このような体験ができてよかった。

(6) ADHD講座 (ADHD)

ADHDの診断を受けた児童には、身辺自立の苦手さは少ない一方で、急に道に飛び出す、食事中に何度も席を離れるなどの、より注意を要する問題行動が多くみられる。支援者や保護者は強いストレスを感じがちだが、最も困っているのは本人であり、児童によっては自閉症スペクトラム障がいや学習障がいを同時にもっている場合があり、児童の状態に応じた支援が必要となる。本講座では、ADHDの理解を深めていただくために、ADHDの基本的知識や関わり方などのポイントについて、講義をうけ、学習する。

1. ADHDスポット講座

対象：保護者・支援者・当事者

講師：高山 恵子先生 (NPO法人 えじそんくらぶ所長 臨床心理士 薬剤師)

定員：80名

★実施済 (1回)

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|--------------------|-------|------------------------|------|-----|----|
| | | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| ADHDのある方の 特徴と支援 | 12/14 | C I V I 研修センター 新大阪東 | 22 | 14 | 36 |

★ADHDスポット講座アンケート結果 (回収率97%)

| 講演内容について (理解度) | 人数 |
|----------------|----|
| 大変わかりやすかった | 23 |
| わかりやすかった | 11 |
| 難しかった | 1 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 35 |

| 講演内容について (役立度) | 人数 |
|----------------|----|
| 大変参考になった | 27 |
| 参考になった | 6 |
| あまり参考にならなかった | 1 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 1 |
| 計 | 35 |

【感想・意見】

・子どもを責めたことはないが、何をしてあげられたら良いのかわからなかったもので、今日は気持ちが楽になりました。

・夫と来ました。自分で伝えると問題が起きたり (口論)、上手く伝えられなくてお互い困っていましたが、私が知ってほしいことがたくさんあり、夫もメモを取ってくれていたのもとても救われました。わかりやすくお話ししていただき、

・キーワード (心理教育・神経心理ピラミッド) に関しては初めて聞く内容だったので、とても関心を持ちました。ぜひ高山先生の著書も読んで学びを深めたいと思いました。

2. 学齢期のADHD講座

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：河口 剛先生（医療法人サヂカム会 三国丘病院 院長）

定員：50名

★実施済（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|-------------|-------|--------|------|-----|----|
| | | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| 児童・思春期のADHD | 10/21 | 大阪私学会館 | 27 | 34 | 61 |

★学齢期のADHD講座アンケート結果（回収率100%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 45 |
| わかりやすかった | 12 |
| 難しかった | 2 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 2 |
| 計 | 61 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 48 |
| 参考になった | 12 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 1 |
| 計 | 61 |

【感想・意見】

・先生の二次障害を発症させないためということばに親としてのこれまでのやってきたこと、違うかったのか…ちゃんと見ていなかったと反省です。療育機関で支えていただきましたが、家庭、母との関わりの重要性を改めて思いました。

・病院で実際に診断や療育されている先生だったのでとてもわかりやすかったです。実際に患者さんを診ている専門家が行う講座がまたあれば嬉しいです。

・子どもはADHDとASDの特性を持っているので、2つの比較表（似て非なる点）がとても参考になり、ASDの話もたくさん聞けて勉強になりました。先生が診察された患者さんの話も、とても参考になりました。

（7）保護者向けライフスキル講座

発達障がいのお子さんが身に付けておくと良い、ライフスキルについて講演を実施する。

対象：幼児・学齢期の保護者

講師：本田 秀夫先生（信州大学医学部附属病院 子どものこころ診療部 部長）

定員：80名

★実施済（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者 |
|---------------|------|------------------------|-----|
| 保護者向けライフスキル講座 | 2/23 | C I V I 研修センター 新大阪東 | 57 |

★学齢期のADHD講座アンケート結果（回収率98%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 40 |
| わかりやすかった | 13 |
| 難しかった | 1 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 2 |
| 計 | 56 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 44 |
| 参考になった | 11 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 1 |
| 計 | 56 |

【感想・意見】

- ・とても貴重なお話でした。目からうろこという感じです。すでに一般の子と比べて焦ってしまったりするので、こういうお話を聞くことで自分のイライラも軽減されます。
- ・しつけではなく、楽に育てる、頑張りすぎないという言葉にすごくほっとしました。どうしても怒ってしまったり怖い顔をすることが増えているので、自分の行動言動を見直すきっかけになりました。
- ・自閉症の子供たちの気持ちをすごくよく理解していただいでいて、「そうなのそうなの」とうなづくことばかりでした。今年小1になる子と高1になる子がいるのですが、今日のお話を聞いて、何か道筋が見えてきました。すごく勉強になりました。

（8）デジタル支援講座

おさんがSNSやインターネットと付き合うために、保護者が知らなければいけないネットリテラシー等について講演を実施する。

対象：幼児・学齢期の保護者・支援者

講師：西川 めぐみ先生（NTTドコモ スマホ・ケータイ安全教室インストラクター）

定員：80名

★実施済（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|--------------|-----|--------------------|------|-----|----|
| | | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| スマホ・ケータイ安全教室 | 8/5 | JEC日本研修センター 心斎橋 | 8 | 12 | 20 |

★デジタル支援講座アンケート結果（回収率95%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 13 |
| わかりやすかった | 5 |
| 難しかった | 0 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 1 |
| 計 | 19 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 11 |
| 参考になった | 7 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 1 |
| 計 | 19 |

【感想・意見】

- ・子どもたちのまわりにネットにつながるものがあふれていて、家の中でも外でも守ってあげることがすごく難しく困っていた時に、この教室のことを知って参加しました。すごく勉強になりました。
- ・ただただスマホをできるだけ持たせないように考えていましたが、様々なところに危険があることを親も勉強になる点がたくさんありました。
- ・スマホを使ったトラブルの詳しい事例があったり、どんな理由でトラブルに発展してしまうかを教えてもらえ、子どもや保護者の方に伝えやすいなと思いました。ルールを作るポイントも分かりやすかったです。今後子どもや保護者の方に伝えていくうえで非常に参考になりました。

(9) 当事者・家族による講演会（体験談等）

発達障がいのある当事者やその家族による体験談などを交えた講演会。

1. 当事者家族による講演会

対象：当事者・保護者・支援者

講師：笹森 史朗氏

定員：80名

★実施済（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|--------------|-------|--------|------|-----|----|
| | | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| 違っているからおもしろい | 11/20 | 大阪私学会館 | 32 | 20 | 52 |

★当事者家族による講演会アンケート結果（回収率96%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 18 |
| わかりやすかった | 27 |
| 難しかった | 1 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 4 |
| 計 | 50 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 25 |
| 参考になった | 22 |
| あまり参考にならなかった | 1 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 2 |
| 計 | 50 |

【感想・意見】

・すごく具体的にお話くださったので、とても参考になりました。やはり家庭が子どもの居場所なのだなと改めて思いました。不登校のお話が、大きくなった頃の子どもの気持ちまで知ることができ、有意義でした。講演、すごく心を動かされました。

・父親からの目線、立ち位置が非常にわかりやすく、自分に置き換えてお話を聞かせていただきました。これからの日常に少しでも生かせるように家に帰ってから妻と話してみようと思います。

・「発達障がいには理解できないということが理解できればたいしたものだ」というお言葉に感銘を受けました。本当にその通りだと思いました。

(10) 家族支援講座

発達障がいのある子のきょうだいにスポットをあて、“きょうだい”の思いや“きょうだい”支援について講演を実施する。

対象：保護者・支援者

講師：田中 一史先生（京都市児童福祉センター 児童精神科医）

定員：80名

★実施済（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|-------------------|------|--------|------|-----|----|
| | | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| 発達障がいがある子と『きょうだい』 | 1/15 | 大阪私学会館 | 18 | 18 | 36 |

★家族支援講座アンケート結果（回収率88%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 17 |
| わかりやすかった | 8 |
| 難しかった | 1 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 6 |
| 計 | 32 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 22 |
| 参考になった | 5 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 5 |
| 計 | 32 |

【感想・意見】

- ・次男が障がいがあり、長男がつらくあたることにどうしたらいいのかと思っていたので、とってもよい学びになりました。
- ・ライフステージからその時の状況とその気持ちを知ることができてよかったです。家族、家庭の安定感に障がいのある・なしにかかわらず本当に大切と改めて思いました。
- ・「きょうだい」支援があることを知りませんでした。成長の段階に沿ってご自分の経験を踏まえて客観的なデータを示されたお話はとても役に立ちました。

【3】保護者向けソーシャルスキル講座

対人関係を円滑にするための具体的な行動の身につけ方について、年齢や特性に応じてどのように教えていけばいいのか、家庭での取り組み方法の講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：各回20名

★実施済（幼児期3回×1クール 学齢期3回×1クール）

| 区分 | 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|--------------|-----------------------------|--------------|----------|------|-----|-----|
| | | | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| 幼児期 | 幼児期で身に付けたいソーシャルスキルについて | 9/27・10/4・11 | 大阪市中央公会堂 | 14 | 27 | 41 |
| 学齢期 (低学年) | 小学校（低学年）で身に付けたいソーシャルスキルについて | 11/8・15・22 | リンク大阪 | 57 | 12 | 69 |
| 計 | | | | 71 | 39 | 110 |

★SST講座アンケート結果（回収率99%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|-----|
| 大変わかりやすかった | 82 |
| わかりやすかった | 21 |
| 難しかった | 2 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 4 |
| 計 | 109 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|-----|
| 大変参考になった | 83 |
| 参考になった | 21 |
| あまり参考にならなかった | 2 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 3 |
| 計 | 109 |

【感想・意見】

- ・子どものタイプ別の解説もあり、大変分かりやすく参考になりました。親の役割を気にしながら、子どもと遊びたいと思いました。
- ・参考になる本やURLの紹介もあり、見て学びたいと思いました。言葉の伝え方、まず自分が子どもにモデルを示すことが大切だと感じました。大変分かりやすく参考になり、家庭でできることを実践していきたいです。
- ・具体性があったてわかりやすかったです。あせらず・できることから取り組んでいきたいと思ます。

支援者講座**【1】集合研修****(1) 啓発講座**

区の自立支援協議会や連絡会、発達障がいサポーターなどの講座として発達障がいの基礎的な講座等を開催し、発達障がいの理解促進・啓発を行う。

★実施済 (11回)

| 対象 | 内容 | 会場 | 日程 | 参加者数 |
|-------------|----------------------------------|------|-------|------|
| 市職員 (市役所関係) | こども相談センター 教育相談担当 | 中央区 | 8/4 | 22 |
| 市職員 (区役所関係) | 住之江区役所 職員研修 | 住之江区 | 1/24 | 57 |
| 当事者・保護者・団体等 | 職業リハビリテーションセンター ジョブコミュニケーション科 | 平野区 | 4/20 | 9 |
| | 雇用支援ネットワーク ジョブコーチ養成講座 | 北区 | 7/6 | 39 |
| | 大空小学校 ハンドインハンド (保護者会) | 住吉区 | 7/15 | 10 |
| | セレッソ大阪スポーツクラブ | 西成区 | 8/26 | 19 |
| | 中央区市民協働課 | 中央区 | 11/24 | 28 |
| | 此花区民生委員児童員協議会 | 此花区 | 11/24 | 18 |
| | 更生療育センター にこにこ倶楽部 | 平野区 | 2/7 | 24 |
| | 北区精神科訪問看護事業所連絡会 | 北区 | 3/4 | 11 |
| | 辻調理師専門学校 | 阿倍野区 | 3/17 | 145 |

(2) 支援者講座**1. 指定障がい福祉事業所向け 基礎講座**

発達障がい児・者の支援に必要な基礎知識の講演を実施する。

対象：指定障がい福祉事業所の支援者

講師：エルムおおさか 地域サポートコーチ

定員：各回50名

★実施済 (2回)

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 |
|-------------|-------|------------------------|------|
| 発達障がいの理解と支援 | 7/8 | C I V I 研修センター 新大阪東 | 91 |
| 発達障がいの理解と支援 | 12/23 | WEB開催 | 71 |
| 計 | | | 162 |

★基礎講座アンケート結果 (回収率91%)

| 講演内容について (理解度) | 人数 |
|----------------|-----|
| 大変わかりやすかった | 103 |
| わかりやすかった | 43 |
| 難しかった | 0 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 3 |
| 計 | 149 |

| 講演内容について (役立度) | 人数 |
|----------------|-----|
| 大変参考になった | 107 |
| 参考になった | 40 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 2 |
| 計 | 149 |

【感想・意見】

・具体的なお話し、エピソードでとてもわかりやすかったです。特性の理解はよくわかった上で、TPOに合わせた行動が取れない時等の対応方法なども、もっと詳しくお聞きしたかったです。

・発達障がいの種類や症状の違いなどを学べて嬉しく勉強になりました。また、わかりやすい説明でとても聞きやすく内容が理解できました。途中のクイズも良かったです。今後、自身の事業所でも発達障がいの方々と関わる時に活かしていきたいと思います。

・先生のお話を聞きながら、実際に施設に通所している児童の様子が頭に浮かび、この子は、こういう特性があって、こういう行動をしていると知ることが出来ました。今後は、先生の対応方法のヒントを元に、この子にはどういう働きかけをしたらいいかを施設職員間で検討し、実践していきたいと思います。

2. 児童発達支援/放課後等デイサービス支援者向け 基礎講座（実践編）

発達障がい児の支援に必要な基礎知識に加え、実践的な内容の講座を実施する。

対象：児童発達支援・放課後等デイサービスの支援者

講師：村中 直人先生（一般社団法人 子ども・青少年育成支援協会 代表理事）

定員：50名

★実施済（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 |
|----------------------|------|-------|------|
| 発達障がいの理解と支援 （実践編） | 12/9 | WEB開催 | 30 |

★放デイ向け基礎講座（実践編）アンケート結果（回収率80%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 17 |
| わかりやすかった | 6 |
| 難しかった | 0 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 1 |
| 計 | 24 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 15 |
| 参考になった | 9 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 24 |

【感想・意見】

- ・分かりやすくてとても参考になりました。
- ・たくさん要因が考えられる中で、実態や出来事の前後関係などを把握やしっかりと正しく理解していくことで子供たちが過ごしやすい環境づくりにつながっていくと感ずることができました。
- ・とても素晴らしい内容でした、自分たちが普段考えて対応しているながらも、どこか考えすぎてしまったり、主観的になってしまったりしてしまう事があるかなと思っている所があったので、改めて客観的に考える事が出来ました。

3. 成人支援事業所支援者向け 基礎講座（実践編）

発達障がい者の支援に必要な基礎知識に加え、実践的な内容の講座を実施する。

対象：成人支援事業所の支援者

講師：讓田 和芳先生（bonワークス豊中 管理者・サービス管理責任者）

定員：50名

★実施済（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 |
|----------------------|-----|---------|------|
| 発達障がいの理解と支援 （実践編） | 8/3 | 大阪産業創造館 | 32 |

★成人支援事業所向け基礎講座（実践編）アンケート結果（回収率93%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 21 |
| わかりやすかった | 9 |
| 難しかった | 0 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 30 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 21 |
| 参考になった | 9 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 30 |

【感想・意見】

- ・出来るようにどうしたらいいか、動画でとてもわかりやすくて、ハッとさせられました。出来なくても、NOと言わずに、しっかりと見て、観察すること、勉強になりました。
- ・本人中心の支援のあり方を説明していただき、わかりやすかったと思います。
- ・生活介護に携わる立場なので、作業等を通しての支援について考えることが少なかったです。とても良い勉強になりました。

4. 支援者向け心理的疑似体験プログラム

お子さんが抱える困難と、その困難を持ちながら通常学級で学習する時の子どもの気持ちを体験し、その理由を考えた上で、どのような指導が役に立つのか、考えていく。

対象：発達障がい児に関わる支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：40名

★実施済（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 |
|--|------|--------|------|
| 『LD・ADHD等の心理的疑似体験プログラム第3版』で学習時の「聞く・話す・読む・書く」の苦手さを理解しよう | 7/12 | 大阪私学会館 | 20 |

★支援者向け疑似体験アンケート結果（回収率100%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 16 |
| わかりやすかった | 2 |
| 難しかった | 0 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 2 |
| 計 | 20 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 17 |
| 参考になった | 3 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 20 |

【感想・意見】

- ・疑似体験して現実抱えている障がいのしんどさを実感できました。あらためて何ができるのかまとめて実践したいと思います。
- ・子どもたちの困難さを体験出来て、今後の子どもたちとの関わりが変わっていく、変えていこうと感じました。日頃の療育の中での不思議が解消されました。

・ずっと受けてみたいと思っていた内容で、子供の立場に立って経験することができました。あせらせたり「できてない」「きいてない」という注意が自分に多くあったことを体験することで、実際に感じる事ができました。

5. 支援者向けライフスキル講座

発達障がいのある方やその家族の支援者を対象に、ライフステージに応じて必要とされる社会性の指導方法について講演を実施する。

対象：支援者

講師：伊丹 昌一先生（梅花女子心理こども学部心理学科 教授）

定員：80名

★実施済（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者 |
|---------------|------|------------------------|-----|
| 支援者向けライフスキル講座 | 1/18 | C I V I 研修センター 新大阪東 | 41 |

★支援者向けライフスキル講座アンケート結果（回収率100%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 31 |
| わかりやすかった | 7 |
| 難しかった | 0 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 3 |
| 計 | 41 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 35 |
| 参考になった | 5 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 1 |
| 計 | 41 |

【感想・意見】

・とても楽しい講義をありがとうございました。講義の内容はもちろんですが、先生の子ども達に向き合う姿勢にとっても魅力を感じました。「自分をほめる」保護者に伝えていた言葉を実行していなかったように思います。笑顔で向き合い続けられるように帰ったら自分にご褒美をあげたいです。

・自分がどういう風に動くべきか、今やっている療育が正しいのだと感じることが多かった。子どもたちに意欲がでるような行動を考えていけるように意識していきたいと思った。不登校の児童のサポートもアイデアが出る事ができていました。

・とても興味深い内容でした。具体的な事例も多くわかりやすかったです。おもしろいエピソード、情熱的なお話に感心しました。楽しく笑顔で支援することの大切さを改めて思いました。

6. 成人事業所支援者向け セクシャリティ支援

発達障がいのある方の「セクシャリティ支援」「性教育」について研修を実施する。

対象：支援者

講師：平木 真由美先生（京都市立総合支援学校 支援部 NWC）

定員：各回30名

★実施済（2回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者 |
|-------------------------|--------|--------|-----|
| 発達障がいのある方の セクシャリティ支援 | 2/16AM | 大阪私学会館 | 33 |
| | 2/16PM | | 18 |
| 計 | | | 51 |

★セクシャリティ支援アンケート結果（回収率98%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 28 |
| わかりやすかった | 19 |
| 難しかった | 3 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 50 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 25 |
| 参考になった | 23 |
| あまり参考にならなかった | 2 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 50 |

【感想・意見】

・グループワークでの講座をZOOMでしかやったことがなかったので、実際に対面して行うことで、それぞれの意見や話がリアルに聞けて良かったです。講座の内容もあまりないものだったので参考になりました。

・改めて性について自分自身も勉強することができました。性の話をするとき、大人になった今でもどこか恥じらいを感じます。ただ伝えるためには恥じらいをすてること、しっかりと信頼関係の元、教えることの必要性を学びました。

・とてもよい講座で、グループワークも良いと思いました。セクシャリティ支援の参考になり、活かしていきたいと思います。

7. 区役所の支援者対象講座

区役所の支援者を対象として、発達障がいのあるお子さんの食に関する課題への支援など、日々の支援に役立つ内容の研修を実施する。

対象：区役所の保健師・心理相談員・保育士・家庭児童相談員

講師：倉澤 茂樹先生（福島県立医科大学 保健科学部作業療法学科 教授）

定員：50名

★実施済（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 |
|-------------------|------|--------|------|
| 子どもの食に関する課題への支援方法 | 8/17 | 大阪私学会館 | 24 |

★区役所の支援者対象講座アンケート結果（回収率100%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 19 |
| わかりやすかった | 5 |
| 難しかった | 0 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 24 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 20 |
| 参考になった | 4 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 24 |

【感想・意見】

・過敏や不器用な子についてのお話も聞くことができて良かったです。偏食に対して、どのように関わるとよいのかということだけでなく、偏食の背景についても、詳しく知ることができました。今後の相談の中で、活用させていただきたいです。

・無理強いさせず、フレーバー嗜好学習や、ワンスプーンチャレンジで支援していくことが大切だと学びました。「完食することが良い」と考えがちですが、「いりません」「減らして」と伝えられることも、生きていく上で必要なスキルだと知りました。このようなスキルを子どもたちにも伝えていきたいと思います。

・発達障がいと感覚は、切っても切り離せないカテゴリーだと思うのですが、今まで学ぶ機会が少なく、支援において大変困っていました。今回のような講座は、大変貴重でありがたかったです。

【2】機関コンサルテーション

(1) 出前研修

集合研修を聴講したくても、施設の現場から離れることができないなどの支援者のニーズにあわせて、施設等を訪問し発達障がいに関する研修を実施する。

★実施済 (5回)

| 対象 | 内容 | 日程 | 参加者数 |
|--|-----------|-------|------|
| 障がい児支援機関（児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所） | 発達障がい基礎講座 | 12/6 | 10 |
| 青年・成人期支援機関（就労移行支援・就労継続A・B、生活介護、施設入所支援・GH等） | 発達障がい基礎講座 | 7/3 | 38 |
| | | 8/2 | 4 |
| | | 9/28 | 11 |
| | | 11/10 | 13 |
| 計 | | | 76 |

★アンケート結果（回収率93%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 43 |
| わかりやすかった | 26 |
| 難しかった | 2 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 71 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 50 |
| 参考になった | 19 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 2 |
| 計 | 71 |

【感想・意見】

・感覚過敏の方の見え方、聞こえ方を知ることができた。さらにYouTubeでもその映像があるとのことなので、早速みてみようと思う。発達障がいについては以前から、ママ友の間で「どういう事だろう？うちの子は大丈夫なのか？」と話題になるが、あまりしっかり理解出来ていなかった。入職してまだ2カ月なので、今回の研修を最初の1歩として自分でも出来る限り理解できるように学んでいきたいです。

・発達障がいの基礎的な知識を学ぶことができた。

・発達障がいについてあまり知らなかったのですが、色々と知ることができてよかったです。これからもそういう方々とお付き合いがあると思うので、肯定すること、具体的に言うことを念頭において、がんばれたらと思います。

(2) 訪問支援

各事業所等団体に機関支援の一環で訪問し、センターで直接相談のケースではないが支援方針の助言を実施したり、施設運営等の助言を実施する。

★実施済み（延べ99回・44か所）

| 区分 | 延べ回数 | 実訪問か所数 |
|--------------|------|--------|
| 私立保育園 | 65 | 27 |
| 障がい児通所・入所施設 | 1 | 1 |
| 教育関係機関 | | |
| 成人期支援機関 | 24 | 7 |
| 障がい児・者相談支援機関 | | |
| 居宅介護事業所 | | |
| 社会福祉協議会 | | |
| 区役所（保健福祉含む） | 1 | 1 |
| 労働関係機関 | | |
| その他 | 8 | 8 |
| 計 | 99 | 44 |

【3】ティーチャーズ・トレーニング講座

市内の保育所の保育士対象に、発達の特性的なお子さんにフォーカスを当て、グループワークや宿題の実践を通して、より良い保育を目指す連続講座を実施する。

対象：大阪市内の保育所（園）に勤務している年少～年長の担任保育士

定員：8名

★実施済（6回×2クール 計12回）

| 期間 | 会場 | 参加者数 |
|------------|---------|------|
| 6/16～11/17 | たかつガーデン | 8 |
| 7/1～12/2 | たかつガーデン | 8 |

【4】成人支援講座

(1) 成人期支援者スキルアップ事業

①基礎講座

②基礎講座に参加の成人期発達障がい者支援事業所（2021年度は5事業所）をモデルに、年4回の訪問コンサルテーションを含め、ガイダンス・まとめ報告会を行い、スキルアップを目指す。

③公開講座として①の基礎講座に加え、②の事業所に取組内容を実践報告として発表してもらい、参加者に具体的支援手法を学んでもらう。

☆成人期支援者スキルアップ事業の流れ

①成人支援基礎講座

↓ 成人期基礎講座として、発達障がい者支援のあり方について講演を行い、基礎的な支援の内容を学ぶ機会を提供する。

<実施事業所の募集と選定>

②ガイダンス

↓ 機関コンサルテーションを希望の施設に、ガイダンスを行い、コンサルテーションを実施する意義、受け手と成り手の各々のスタンスについて講義。コンサルタントが施設のニーズを集約・課題点を明確にし、情報共有したうえで第1回訪問までにコンサルタントが助言等を精査する。

↓ 初回訪問時に施設内を分析し課題点の整理、次回訪問までに取り組む内容等を助言。2回目の訪問の際は、助言内容実施後の変化の状況を共有。必要に応じて評価セッションを行い、その場でフィードバックを実施し、最終の確認と今後の方向性の整理を行う。

③まとめ報告会

↓ 各事業所4回の訪問コンサルテーションを終え、事業所内での取り組み内容や、コンサルテーション実施後の変化について報告。また、実践報告会（2/29予定）での発表に向けて、更に取り組む内容や、これまで実施した取り組み内容についても整理し、支援の方向性について確認する。

④実践報告会：基礎研修＋実践報告

講演と、事業所での実践報告の発表。次年度に関しても別の事業所に対して本事業の実施する方向性を予告し、次年度の希望施設を募る。

(2) 成人期支援者スキルアップ事業の実施状況

①基礎講座

対象：成人支援事業所の支援者

講師：中山 清司先生（特定非営利活動法人 自閉症eサービス代表）

定員：50名

★実施済（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|----------------------|------|--------|-----------|-----|----|
| | | | 本人 家族等 | 支援者 | 計 |
| 自閉スペクトラム症支援の 基礎知識 | 6/14 | 大阪私学会館 | | 77 | 77 |

★アンケート結果（回収率93%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 42 |
| わかりやすかった | 26 |
| 難しかった | 0 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 4 |
| 計 | 72 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 39 |
| 参考になった | 32 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 1 |
| 計 | 72 |

【感想・意見】

- ・自閉症の基礎から関わり方、また自閉症の人たちの視点等、大変勉強になりました。
- ・自閉症について、物の見え方や考え方を初めて知って、自分がどういう風にかかわったらよいか考えさせられた。今まで言葉での指示が多かったのが、ジェスチャーや視覚的にわかる指示を増やそうと思う。自閉症と言っても一人一人違うので、向き合いながら自分にできることを考えたい。
- ・ビデオによる実際の映像がとてもわかりやすくなった。発達障害の勉強会はいくつか出席したが、理論ばかりではなく具体的な方法などわかりとても勉強になった。

②ガイダンス

★実施済（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 |
|---------------|-----|---------------|------|
| コンサルテーションの意義等 | 7/5 | リハビリテーションセンター | 12 |

③まとめ報告会

★実施済（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 |
|---------|------|---------------|------|
| 取組内容の整理 | 1/17 | リハビリテーションセンター | 12 |

【スキルアップの実施状況】

| 事業所 | 施設種別 | 対象者の概要・課題点 |
|-----|----------|--|
| ① | 就労継続支援A型 | 56歳女性 ADHD 精神障がい者保健福祉手帳3級 気になる行動への対応、コミュニケーション支援の具体的助言 活動内容、施設の環境調整、行事への参加の手立て |

| | | |
|---|------|---|
| ⑥ | 生活介護 | 32歳男性 自閉症傾向 療育手帳 A 気になる行動への対応 |
| ⑦ | 生活介護 | 21歳男性 広汎性発達障がい 療育手帳A 気になる行動への対応 コミュニケーション支援の具体的助言 |
| ⑧ | 生活介護 | 19歳男性 自閉症 療育手帳A コミュニケーション支援の具体的助言 |
| ⑨ | 生活介護 | 28歳男性 自閉症傾向 療育手帳A 気になる行動への対応 |

④実践報告会（基礎講座＋実践報告）

基礎講座は、自閉症の問題行動に視点を当て、冰山モデル・客観的評価の重要性など自閉症支援に必要とされる支援の着眼点を講義形式で実施予定。

実践報告会は、5事業所より4回のコンサル訪問の経過ならびに、利用者の問題行動がどのように変化したかに視点を向け参加事業所より報告する。担当コンサルタントより講評や助言をもらい、総括として講師より自閉症支援に対して構造化や評価の重要性を提言してもらう予定。

対象：成人支援事業所の支援者

講師：中山 清司先生（特定非営利活動法人 自閉症eサービス代表）

定員：50名

★実施済（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|---------------------|-----|--------|-----------|-----|----|
| | | | 本人 家族等 | 支援者 | 計 |
| 問題行動の理解と 求められる支援 | 3/6 | 大阪私学会館 | 4 | 72 | 76 |

★アンケート結果（回収率65%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 24 |
| わかりやすかった | 24 |
| 難しかった | 1 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 1 |
| 計 | 50 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 20 |
| 参考になった | 28 |
| あまり参考にならなかった | 1 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 1 |
| 計 | 50 |

【感想・意見】

- ・色々な事例や方針のやり方がとても勉強になりました。ありがとうございました。

【資料1-3】

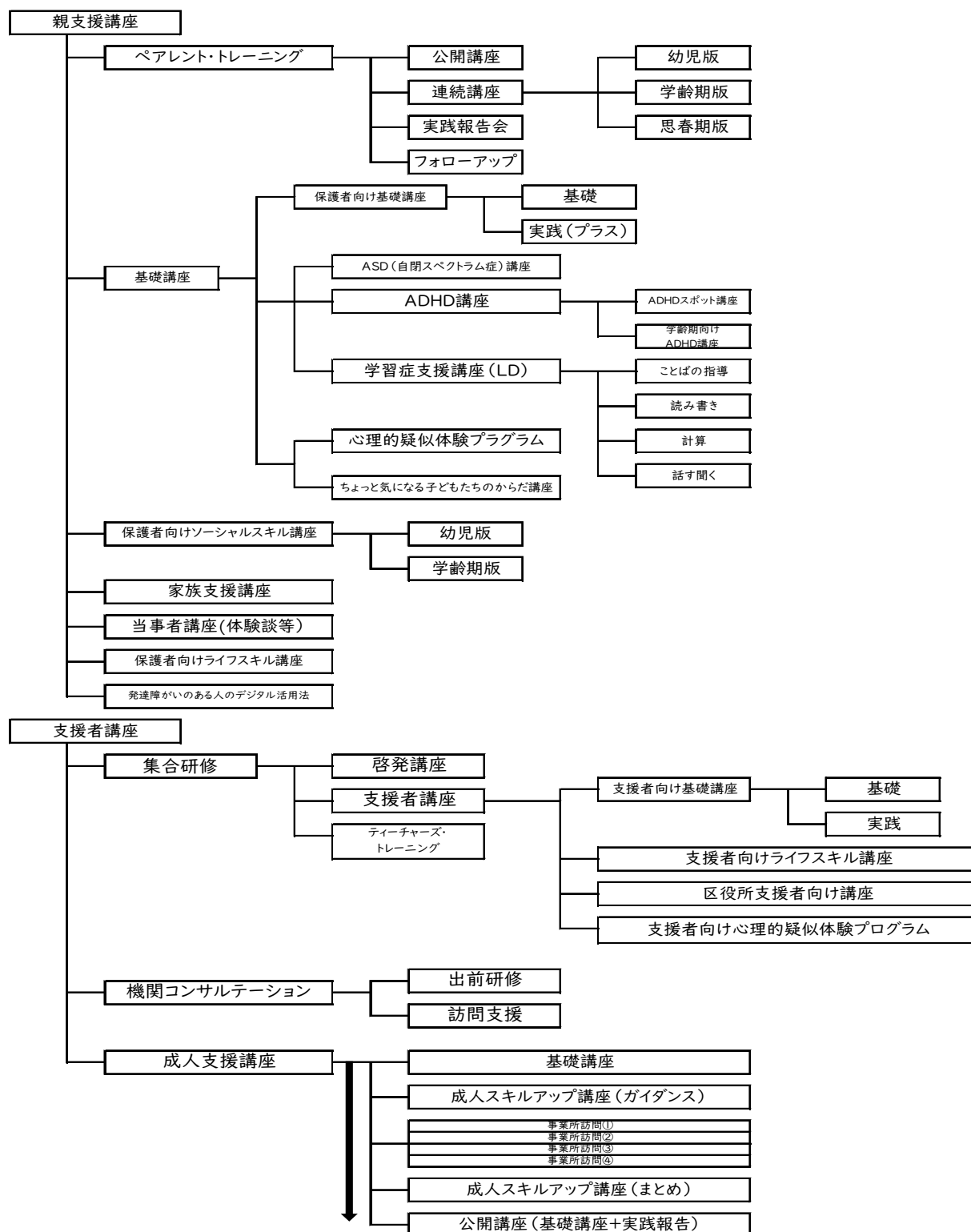
- ・問題行動に対して、どうしたらやめてもらえるかに目が向きがちだが、なぜ、そのような行動に至ったのか、他の職員とも話し合っただけで考え、色々とアプローチしていくことが、大切だと思いました。
- ・弱みや問題行動にばかり注目せず、アセスメントをきちんと行い、支援者優位ではなく、利用者様本位の支援に繋げていけるよう、学習スタイルに合わせた支援について、改めて学ばさせていただきました。

発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート体制の強化
（令和4年4月～令和4年6月）

事業概要

地域サポートコーチを配置し、地域の関係機関・事業所等への啓発・研修・支援、ペアレント・トレーニング等の親支援を実施。

エルムおおさか サポートコーチ事業体系図



【 取 組 状 況 】

親 支 援 講 座

【1】ペアレント・トレーニング

児童の特性や行動を理解し、親自身が児童にとっての「最良の療育者」となり自尊心を高めることができるよう、行動療法に基づく効果的な対応法を学び、話し合い、練習する。

(1) ペアレント・トレーニング公開講座

発達障がいのある児童の特性や対応方法を解説し、特性に応じた対応の重要性を啓発するとともに、ペアレント・トレーニングの目的、概要、実践、効果を紹介することでペアレント・トレーニングの受講を促す。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：今村 佐智子先生（一般社団法人 発達支援ルームまなび 理事）

定員：50名

★実施済（1回）

| 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|------|------------|------|-----|----|
| | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| 6/24 | 難波市民学習センター | 25 | 25 | 50 |

★実践報告会アンケート結果（回収率97%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 34 |
| わかりやすかった | 13 |
| 難しかった | 1 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 1 |
| 計 | 49 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 33 |
| 参考になった | 15 |
| あまり参考にならなかった | 1 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 49 |

【感想・意見】

- ・親自身が自信を持って子育てしていけるトレーニング方法がある事を知れて良かったです
- ・子どもの観察をしているようで実際にできていないんだと思いました。子どもを見る良いきっかけになりました。
- ・子どもの感情を受け止めることの重要性を知り、今後の仕事に役立てたいと思います。

★実施予定（2回）

| 日程 | 会場 |
|-------|-------------------|
| 8/30 | J E C 日本研修センター心斎橋 |
| 11/14 | WEB（オンデマンド） |

(2) ペアレント・トレーニング連続講座

行動療法に基づく効果的な対応方法を身につけ、児童の適応行動を増やす。計画表に沿ってテーマを決めて学習・話し合い・練習を行い、ホームワークを自宅で実践する。

対象：幼児期・学齢期の保護者

定員：8名

★実施中・実施予定（幼児：6回×5クール、学齢：10回×5クール、思春期：9回×1クール 計89回）

| 対象 | 期間 | 会場 | 参加者数 | | |
|----|------------|----------|------|-----|---|
| | | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| 幼児 | 5/24～7/26 | 東成区民センター | 中止 | | - |
| | 5/27～7/29 | 港区民センター | 4 | | 4 |
| | 9/16～11/25 | 浪速区民センター | 実施予定 | | - |
| | 9/20～11/29 | 鶴見区民センター | 実施予定 | | - |
| | 1/11～3/22 | 調整中 | 実施予定 | | - |
| | 1/12～3/16 | 福島区民センター | 実施予定 | | - |

| | | | | |
|-----|------------|-------------------|------|---|
| 学 齢 | 5/11～10/19 | 住吉区民センター | 5 | 5 |
| | 5/19～10/27 | 西成区民センター | 8 | 8 |
| | 8/29～1/16 | 浪速ビル | 実施予定 | - |
| | 10/11～2/21 | ドーンセンター | 実施予定 | - |
| | 10/12～3/8 | 難波市民学習センター | 実施予定 | - |
| 思春期 | 10/20～3/9 | J E C 日本研修センター心齋橋 | 実施予定 | - |

※幼児Aグループは開催可能人数に達しなかったため、中止になった。

(3) ペアレント・トレーニング実践報告会

ペアレント・トレーニング連続講座の成果をはじめ、ペアレント・トレーニングの内容、意義について広く知っていただくことを目的として実施。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：今村 佐智子先生（一般社団法人 発達支援ルームまなび 理事）

定員：80名

★実施予定 (1回)

| 日程 | 会場 |
|-----|-----|
| 3/3 | 調整中 |

(4) ペアレント・トレーニング フォローアップ講座

ペアレント・トレーニング連続講座を受講された保護者を対象に、講座終了後ある程度の期間が経過した段階で、ご家庭での取り組みや、課題等について再整理・共有し、今後のお子さんへのかかわり方の一助とする目的で開催する。（2021年度も含む実施済の講座のフォローアップ）

★現時点での実施済 (5回)

| 対象 | 日程 |
|-----|------|
| 幼児 | 4/21 |
| | 6/28 |
| 学 齢 | 5/26 |
| | 6/13 |
| | 6/29 |

★現時点での実施予定 (2回)

| 対象 | 日程 |
|-----|------|
| 学 齢 | 1/26 |
| | 2/1 |

【2】基礎講座

(1) 基礎講座

発達障がい診断を受けたばかりの保護者やグレーゾーンの保護者を対象に、発達障がいの基礎的な知識と支援についての講演を実施します。プラスでは、より具体的な支援方法についての講座を実施します。

対象：幼児期・学齢期の保護者

講師：地域サポートコーチ

定員：各回50名

★実施予定（4回）

| 内容 | 日程 | 会場 |
|----------------------|-------|---------------|
| 発達障がいの理解と支援 (基礎) | 7/8 | CIVI北梅田研修センター |
| 発達障がいの理解と支援 (プラス) | 9/7 | 大阪御堂筋ビル貸会議室 |
| 発達障がいの理解と支援 (基礎) | 12/12 | 大阪府社会福祉会館 |
| 発達障がいの理解と支援 (プラス) | 2/17 | 大阪私学会館 |

(2) ASD (自閉スペクトラム症) 講座

おさんの理解と支援をテーマに、ASDの子どもたちの物事の捉え方や親子で暮らしやすい見える化(環境調整)の例について講演を実施します。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：井上 芳子 (エルムおおさか センター長)

定員：各回30名

★実施予定 (2回×1クール 計2回)

| 内容 | 日程 | 会場 |
|-------------|-------|--------------|
| わかりやすい環境づくり | 10/6 | UMEDA I 大阪梅田 |
| 気になる行動の考え方 | 10/13 | |

(3) ADHD講座 (ADHD)

ADHDの診断を受けた児童には、身辺自立の苦手さは少ない一方で、急に道に飛び出す、食事中に何度も席を離れるなどの、より注意を要する問題行動が多くみられる。支援者や保護者は強いストレスを感じがちだが、最も困っているのは本人であり、児童によっては自閉症スペクトラム障がいや学習障がいを同時に持っている場合があり、児童の状態に応じた支援が必要となる。本講座では、ADHDの理解を深めていただくために、ADHDの基本的知識や関わり方などのポイントについて、講義をうけ、学習する。

1. ADHDスポット講座

対象：保護者・支援者・当事者

講師：本田 秀夫先生 (信州大学医学部附属病院 子どものこころ診療部 部長)

定員：80名

★実施予定 (1回)

| 内容 | 日程 | 会場 |
|------------------------|-----|--------------------|
| (仮) ADHDのある方の 特徴と支援 | 1/8 | CIVI研修センター 新大阪東 |

2. 学齢期のADHD講座

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：福井 美保先生 (大阪大谷大学 教授)

定員：50名

★実施予定 (1回)

| 内容 | 日程 | 会場 |
|---------------|-------|--------------------|
| 学齢期のADHD (予定) | 11/21 | JEC日本研修センター 心斎橋 |

(4) ことばの指導・読み書き・計算・聞く話す(LD)

学習のつまずきや宿題への対応など、幼児期学齢期の特性に応じた支援や指導方法のポイントについて、講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：各回30名

★実施済み（2回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|--------------------|------|----------|------|-----|----|
| | | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| 豊かなことばを育むために | 5/16 | リンク大阪 | 17 | 15 | 32 |
| 聞く力・話す力の理解と指導へのヒント | 6/8 | 大阪市中央公会堂 | 29 | | 29 |
| 計 | | | 46 | 15 | 61 |

★LD講座アンケート結果（回収率96%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 42 |
| わかりやすかった | 16 |
| 難しかった | 1 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 59 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 44 |
| 参考になった | 15 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 59 |

【感想・意見】

- ・言葉を理解できているか、言葉を音で記憶しているだけで使っているかの視点で子どもとの会話を観察しようと思います。その視点がなかったのがそれが知れてよかったです。
- ・自宅で子どもにどんなサポートができるか知れたかったので、参考図書を教えていただけて嬉しかったです。
- ・子どもの目線に立って言葉を分かりやすく伝える大事さを改めて痛感しました。

★実施予定（3回）

| 内容 | 日程 | 会場 |
|--------------------------|-------|--------------|
| 基礎的な読み書きの力を育てる | 9/26 | 大阪産業創造館 |
| 読み書きの力を育てる～高学年での課題と学習支援～ | 11/28 | 大阪市立社会福祉センター |
| 算数でつまずく子どもの理解と指導へのヒント | 2/20 | 調整中 |

(5) 心理的疑似体験プログラム

お子さんが抱える困難と、その困難を持ちながら通常学級で学習する時の子どもの気持を体験し、その理由を考えた上で、どのような指導が役に立つのか、考えていく。

対象：小学生の保護者

講師：西岡 有香先生（大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：20名

★実施予定（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 |
|--|------|---------|
| 『LD・ADHD等の心理的疑似体験プログラム第3版』で学習時の「聞く・話す・読む・書く」の苦手さを理解しよう | 1/31 | 大阪産業創造館 |

(6) ちょっと気になる子どもたちのからだ講座

乳幼児期に獲得される感覚-運動能力の視点から、身体の使い方が不器用で、集団生活が苦手な子どもたちの特徴と支援について講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：有吉 正則先生（兵庫医療大学 准教授 作業療法士）

定員：各回30名

★実施済（2回×1クール 計2回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|---------------|------|---------|------|-----|----|
| | | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| 感覚と運動発達の視点から | 6/6 | 大阪産業創造館 | 6 | 21 | 27 |
| 身体と手先の動きを育てよう | 6/13 | | 4 | 21 | 25 |
| 計 | | | 10 | 42 | 52 |

★からだ講座アンケート結果（回収率100%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 22 |
| わかりやすかった | 25 |
| 難しかった | 4 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 1 |
| 計 | 52 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 30 |
| 参考になった | 22 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 52 |

【感想・意見】

- ・自分の子どもに当てはまる点が多くとても勉強になりました。赤ちゃんの頃にもう少し知っていたらと思いましたが、今でもできることをやって子どもが過ごしやすいうようにできたらと思います。
- ・座位や不器用さが気になるので、第1回2回ともとても参考になりました。家や療育先でチェックしてもらって、それぞれ出来ることをやっていこうと思います。
- ・運動発達と赤ちゃんの発達の比較がとても興味深かったです。人間の発達段階1つ1つに意味があると改めて感じられました。

【3】保護者向けソーシャルスキル講座

対人関係を円滑にすすめるための具体的行動の身につけ方について、年齢や特性に応じてどのように教えていけばよいのか、家庭での取り組み方法の講演を実施する。

対象：幼児期・学齢期の保護者・支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：各回20名

★実施済・実施中（幼児期3回×1クール）

| 区分 | 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|-----|----------------------------|-------------|----------------|------|-----|----|
| | | | | 保護者 | 支援者 | 計 |
| 幼児期 | 幼児期で身に付けたい ソーシャルスキルについて | 6/22・29・7/6 | 総合生涯 学習センター | 17 | 36 | 53 |

★SST講座アンケート結果（回収率98%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 41 |
| わかりやすかった | 11 |
| 難しかった | 0 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 52 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 41 |
| 参考になった | 11 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 52 |

【感想・意見】

・みんながわからないことはわからなくても平気だけど、自分だけわからないことがどれだけ不安か、いやな気持ちか…が実体験でとてもわかりました。子どもがいつでも何度でも聞ける雰囲気大切にしようと改めて思いました。

・子どものアセスメントの重要性を改めて考えました。「ここまで頑張らせよう」と引き上げの方向に注力しがちですが、今出来ている子どもの力を皆が理解してそこから全体を引き上げる方法をスモールステップで考えたいと思います。

・保護者の理解が難しい家庭もありますが、まずは自分で実践してみて、子どもへ返していけるように今回学んだ事を参考にしていきたいと思いました。また、定型発達の子へも活かせる指導の仕方も学びました。

★実施予定（学齢期3回×1クール）

| 区分 | 内容 | 日程 | 会場 |
|----------|-----------------------------|-------------|---------|
| 学齢期（低学年） | 小学校（低学年）で身に付けたいソーシャルスキルについて | 10/17・24・31 | 大阪産業創造館 |

【4】家族支援講座

きょうだいを抱えやすい悩みや、きょうだい会での実践について研修を実施する。

対象：保護者・支援者

講師：滝島 真優先生（きょうだい会SHAMS 代表）

定員：80名

★実施予定（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 |
|------------------|------|------------------------|
| きょうだい支援の必要性とその支援 | 10/7 | C I V I 研修センター 新大阪東 |

【5】当事者講座（体験談等）

発達障がいのある当事者による体験談などを交えた講演会。

対象：当事者・保護者・支援者

講師：綿貫 愛子先生（NPO法人 東京都自閉症協会）

定員：80名

★実施予定（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 |
|---------------|------|------------------------|
| 当事者による体験談（予定） | 2/23 | C I V I 研修センター 新大阪東 |

【6】保護者向けライフスキル講座

発達障がいのお子さんが身に付けておくと良い、ライフスキルについて講演を実施する。

対象：幼児・学齢期の保護者

講師：関 正樹先生（大湫病院 児童精神科医）

定員：80名

★実施予定（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 |
|------------|-----|-----------------------|
| ゲーム障がい（予定） | 2/7 | C I V I 北梅田 研修センター |

【7】発達障がいのある人のデジタル活用法

学校内でのデジ教科書やタブレット活用法などについて講演を実施する。

対象：幼児・学齢期の保護者・支援者

講師：調整中

定員：80名

★実施予定（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 |
|------------------------|-----|-----|
| デジ教科書と タブレット活用法（予定） | 調整中 | 調整中 |

支援者講座

【1】集合研修

(1) 啓発講座

区の自立支援協議会や連絡会、発達障がいサポーターなどの講座として発達障がいの基礎的な講座等を開催し、発達障がいの理解促進・啓発を行う。

★実施済み（3回）

| 対象 | 内容 | 会場 | 日程 | 参加者数 |
|-------------|----------------------------------|------|------|------|
| 市職員（区役所関係） | 生野区役所保健福祉課 職員研修 | 生野区 | 6/22 | 22 |
| 当事者・保護者・団体等 | 職業リハビリテーションセンター ジョブコミュニケーション科 | 平野区 | 4/16 | 9 |
| | 東淀川区自立支援協議会こども部会 | 東淀川区 | 5/13 | 20 |

(2) 支援者講座

1. 指定障がい福祉事業所向け 基礎講座

「1」基礎講座

発達障がい児・者の支援に必要な基礎知識の講演を実施する。

対象：指定障がい福祉事業所の支援者

講師：エルムおおさか 地域サポートコーチ

定員：各回50名

★実施済（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 |
|-------------|-----|-----|------|
| 発達障がいの理解と支援 | 6/2 | WEB | 101 |

★基礎講座アンケート結果（回収率91%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 60 |
| わかりやすかった | 17 |
| 難しかった | 1 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 78 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 65 |
| 参考になった | 12 |
| あまり参考にならなかった | 1 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 78 |

【感想・意見】

・実際に体験する事で少しでも理解が深まったと思います。児童に関わる仕事である以上これからも勉強していかなければならないと改めて実感しました。

・発達障害についての基本的な知識をより深く知ることができました。また、以前に学んだことなど初心を振り返ることも出来ました。

・発達障がいそれぞれの症状や特性について、詳しく学ぶことができました。また、支援のなかで関わる際に気を付けるポイントも知ることができました。支援者として「具体的な伝え方」ができていなかったな、など普段の関わりのなかで配慮ができていなかったところなど、気づくことが出来ました。大変分かりやすい内容でした。

★実施予定（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 |
|-------------|------|-----|
| 発達障がいの理解と支援 | 11/2 | WEB |

「2-1」児童発達支援/放課後等デイサービス支援者向け 基礎講座（実践編）

発達障がい児の支援に必要な基礎知識に加え、実践的な内容の講座を実施する。

対象：児童発達支援・放課後等デイサービスの支援者

講師：村中 直人先生（一般社団法人 子ども・青少年育成支援協会 代表理事）

定員：50名

★実施予定（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 |
|----------------------|------|-----------------------|
| 発達障がいの理解と支援 （実践編） | 12/7 | J E C 日本研修センター 心斎橋 |

「2-2」成人支援事業所支援者向け 基礎講座（実践編）

発達障がい者の支援に必要な基礎知識に加え、実践的な内容の講座を実施する。

対象：成人支援事業所の支援者

講師：譲田 和芳先生（bonワークス豊中 管理者・サービス管理責任者）

定員：50名

★実施予定（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 |
|----------------------|-----|-----------------------|
| 発達障がいの理解と支援 （実践編） | 8/2 | J E C 日本研修センター 心斎橋 |

2. 支援者向けライフスキル講座

発達障がいのある方の「セクシャリティ支援」「性教育」について研修を実施する。

対象：支援者

講師：平木 真由美先生（京都市立総合支援学校 支援部 NWC）

定員：50名

★実施予定（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 |
|-------------------------|------|--------|
| 発達障がいのある方の セクシャリティ支援 | 1/18 | 大阪私学会館 |

3. 区役所の支援者対象講座

区役所の支援者を対象として、発達障がいのあるお子さんへの具体的ななかかわり方、家庭の中でできる工夫などについて研修を実施する。

対象：区役所の保健師・心理相談員・保育士・家庭児童相談員

講師：宮崎 義博先生（作業療法士）

定員：50名

★実施予定（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 |
|------------------------------------|------|-----------------------|
| 気になるこどもの行動理解と なかかわり方、家庭での工夫について | 8/25 | J E C 日本研修センター 心齋橋 |

4. 支援者向け心理的疑似体験プログラム

お子さんが抱える困難と、その困難を持ちながら通常学級で学習する時の子どもの気持を体験し、その理由を考えた上で、どのような指導が役に立つのか、考えていく。

対象：発達障がい児に関わる支援者

講師：西岡 有香先生（大阪医科薬科大学LDセンター 言語聴覚士 特別支援教育士SV）

定員：40名

★実施予定（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 |
|--|------|-----------------------|
| 『LD・ADHD等の心理的疑似体験プログラム第3版』で学習時の「聞く・話す・読む・書く」の苦手さを理解しよう | 9/13 | J E C 日本研修センター 心齋橋 |

（3）ティーチャーズ・トレーニング講座

市内の保育所の保育士対象に、発達の特性のあるお子さんにフォーカスを当て、グループワークや宿題の実践を通して、より良い保育を目指す連続講座を実施する。

対象：大阪市内の保育所（園）に勤務している年少～年長の担任保育士

定員：8名

★実施済み・実施中（6回×2クール 計12回）

| 期間 | 会場 | 参加者数 |
|------------|---------|------|
| 6/27～11/28 | たかつガーデン | 8 |
| 7/13～12/14 | たかつガーデン | 8 |

【2】機関コンサルテーション

（1）出前研修

集合研修を聴講したくても、施設の現場から離れることができないなどの支援者のニーズにあわせて、施設等を訪問し発達障がいに関する研修を実施する。

★実施済（1回）

| 対象 | 内容 | 日程 | 参加者数 |
|-------|-----------|------|------|
| 保育所・園 | 発達障がい基礎講座 | 5/17 | 12 |

★アンケート結果（回収率100%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 12 |
| わかりやすかった | 0 |
| 難しかった | 0 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 12 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 12 |
| 参考になった | 0 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 0 |
| 計 | 12 |

【感想・意見】

- ・今まで何となく知識として持っていたことも、具体的な例を交えてお話してくださったので、イメージしやすかったです。
グループワークもあり、色んな人の意見が聞けてとてもべんきょうになりました。
- ・発達障がいについて詳しく教えていただき、大変勉強になりました。今後の保育に役立てていきたいと思えます。
- ・ADHDやSLD、何となく聞いたことがあったのですが、数種類に分類されていたり、人によって症状がさまざまいうことを初めて知りました。今日の研修を通して、子どもひとり一人に合わせて言葉を選び、異なった対応を心がけようと思いました。

（２）訪問支援

各事業所等団体に機関支援の一環で訪問し、センターで直接相談のケースではないが支援方針の助言を実施したり、施設運営等の助言を実施する。

★実施済み（延べ21回・21か所）

| 区分 | 延べ回数 | 実訪問か所数 |
|--------------|------|--------|
| 私立保育園 | 17 | 17 |
| 障がい児通所・入所施設 | | |
| 教育関係機関 | | |
| 成人期支援機関 | 1 | 1 |
| 障がい児・者相談支援機関 | | |
| 居宅介護事業所 | | |
| 社会福祉協議会 | | |
| 区役所（保健福祉含む） | | |
| 労働関係機関 | | |
| その他 | 3 | 3 |
| 計 | 21 | 21 |

【３】成人支援講座

（１）成人期支援者スキルアップ事業

①基礎講座

②基礎講座に参加の成人期発達障がい者支援事業所（2022年度は5事業所）をモデルに、年4回の訪問コンサルテーションを含め、ガイダンス・まとめ報告会を行い、スキルアップを目指す。

③公開講座として①の基礎講座に加え、②の事業所に取組内容を実践報告として発表してもらい、参加者に具体的支援手法を学んでもらう。

☆成人期支援者スキルアップ事業の流れ

①成人支援基礎講座

- ↓ 成人期基礎講座として、発達障がい者支援のあり方について講演を行い、基礎的な支援の内容を学ぶ機会を提供する。
＜実施事業所の募集と選定＞

②ガイダンス

機関コンサルテーションを希望の施設に、ガイダンスを行い、コンサルテーションを実施する意義、受け手と成り手の各々のスタンスについて講義。コンサルタントが施設のニーズを集約・課題点を明確にし、情報共有したうえで第1回訪問までにコンサルタントが助言等を精査する。

初回訪問時に施設内を分析し課題点の整理、次回訪問までに取り組む内容等を助言。2回目の訪問の際は、助言内容実施後の変化の状況を共有。必要に応じて評価セッションを行い、その場でフィードバックを実施し、最終の確認と今後の方向性の整理を行う。

③まとめ報告会

各事業所4回の訪問コンサルテーションを終え、事業所内での取り組み内容や、コンサルテーション実施後の変化について報告。また、実践報告会（2/29予定）での発表に向けて、更に取り組む内容や、これまで実施した取り組み内容についても整理し、支援の方向性について確認する。

④実践報告会：基礎研修＋実践報告

講演と、事業所での実践報告の発表。次年度に関しても別の事業所に対して本事業の実施する方向性を予告し、次年度の希望施設を募る。

(2) 成人期支援者スキルアップ事業の実施状況

①基礎講座

対象：成人支援事業所の支援者

講師：中山 清司先生（一般社団法人 自閉症 e サービス全国ネット 代表）

定員：50名

★実施済（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 | 参加者数 | | |
|--------------------------|------|--------|-----------|-----|----|
| | | | 本人 家族等 | 支援者 | 計 |
| 現場でできる、 インフォーマルアセスメント | 5/25 | 大阪私学会館 | 1 | 87 | 88 |

★アンケート結果（回収率94%）

| 講演内容について（理解度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変わかりやすかった | 52 |
| わかりやすかった | 23 |
| 難しかった | 3 |
| かなり難しかった | 0 |
| 無回答 | 5 |
| 計 | 83 |

| 講演内容について（役立度） | 人数 |
|---------------|----|
| 大変参考になった | 53 |
| 参考になった | 25 |
| あまり参考にならなかった | 1 |
| 全く参考にならなかった | 0 |
| 無回答 | 4 |
| 計 | 83 |

【感想・意見】

- ・自閉症の方の理解が深められました。やっではいけない支援をしていたのではないかと自身や他職員等の支援を振り返って、正しい支援につなげ共有していきたいと思います。
- ・幼少期からしっかりとアセスメント、その方に合わせた支援方法が行えていれば、成年期のその方の将来へ良い方向につながると感じた。
- ・できないことにばかり目が行ってしまいうことが多く、好きなこと、できることに気づいてあげる大事さを学びました。利用者との関係性にもかかわってくることで、実践していこうと思いました。

②ガイダンス

★実施予定（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 |
|---------------|-----|------------------------|
| コンサルテーションの意義等 | 7/5 | リハビリテーションセンター 第1会議室 |

③まとめ報告会

★実施予定（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 |
|---------------------|------|------------------------|
| 取組内容の整理 支援の方向性など | 1/12 | リハビリテーションセンター 第1会議室 |

【スキルアップの実施状況】

| 事業所 | 施設種別 | 対象者の概要・課題点 |
|-----|----------|---|
| ㉠ | 生活介護 | 21歳男性 自閉症 強度行動障害 療育手帳 A 気になる行動への対応・コミュニケーション支援の具体的助言・活動内容 |
| ㉡ | 生活介護 | 32歳男性 自閉症 強度行動障害 療育手帳 A 気になる行動への対応・活動内容・施設の環境調整 |
| ㉢ | 生活介護 | 19歳女性 自閉症 強度行動障害 療育手帳A 気になる行動への対応 |
| ㉣ | 就労継続支援B型 | 30歳男性 自閉スペクトラム症 療育手帳B 2 +精神福祉手帳 2級 気になる行動への対応・コミュニケーション支援の具体的助言・活動内容 |
| ㉤ | 就労継続支援B型 | 26歳男性 自閉スペクトラム症 療育手帳A 気になる行動への対応・活動内容・施設の環境調整 |

④実践報告会（基礎講座＋実践報告）

基礎講座は、自閉症の問題行動に視点を当て、冰山モデル・客観的評価の重要性など自閉症支援に必要とされる支援の着眼点を講義形式で実施予定。

実践報告会は、5事業所より4回のコンサル訪問の経過ならびに、利用者の問題行動がどのように変化したかに視点を向け参加事業所より報告する。担当コンサルタントより講評や助言をもらい、総括として講師より自閉症支援に対して構造化や評価の重要性を提言してもらう予定。

対象：成人支援事業所の支援者

講師：中山 清司先生（一般社団法人 自閉症 e サービス全国ネット 代表）

定員：50名

★実施予定（1回）

| 内容 | 日程 | 会場 |
|-----|------|--------|
| 調整中 | 3/11 | 大阪私学会館 |